

東北税政連だより

No.165

税理士の権益の維持とその拡大のために税政連があります

令和2年度定期大会を開催

福島県税理士政治連盟

7月15日、定期大会が郡山市のビューホテルアネックスにて開催された。

本年は新型コロナウイルスの対策のため規模縮小での開催となった。

大会は、田代行孝副会長の司会により、佐藤信一副会長による開会の辞とともに、大会議決要件の成立の旨の報告があった。出席者本連盟役員21名、代議員5名（委任状13名）



大橋健二会長から、東北税政連の最重点事項である「災害損失控除の創設」についての取組みと、本年1月からスタートした「サポート募金」の金額報告と御礼の挨拶があり、その後、菅野敦史副幹事長が議長に選出され議事に入った。

第1号議案及び第3号議案については深澤広守幹事長から、第2号議案及び第4号議案については水野伸泰会計幹事より議案内容の説明があり、すべての議案は、満場一致をもって原案通り可決承認された。

来賓の熊田耕治東北税理士会福島県支部連合会会長よりご祝辞をいただいた。

祝電披露の後、行形裕司副会長から閉会の辞が述べられ閉会した。

第47回定期大会書面決議報告

山形県税理士政治連盟

7月17日、第47回定期大会は山形市において開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大会開催を自粛し、上程議案については書面決議をすることとした。

6月22日、本連盟会員284名に大会議案書と賛否回答ハガキを送付し、賛否の意思確認を行い、賛否の集計は7月10日、本連盟の2名の監事のもとで行った。



その結果、上程された5つの議案はすべて過半数の賛成を得ました。

7月17日、本連盟執行部会が開催され、監事から結果報告がなされ、出席役員全員の賛成があり大会提出の議案はすべて原案どおり可決承認した。

7月21日、江部寛会長からの書面決議の報告書を本連盟のすべての会員に郵送した。

第47回定期大会を開催

宮城県税理士政治連盟

7月27日、東北税理士会館において、第47回定期大会が開催された。

はじめに、福田治会長から、税政連は、納税者及び税理士の要望を吸い上げ、税制改正に持ってい

くのが使命であり、実現のために国会議員に陳情を行うのが主な活動になっている。後援会をはじめ皆様のご支援に感謝申し上げます。昨年12月に発生したコロナ禍で、活動が制限されているが、感染予防対策をとった上で主税局の担当者を講師に迎えての勉強会を企画しており、今後も引き続き計画していきたい旨のあいさつがあった。

続いて議事に入り、第1号議案から第4号議案が審議され、満場一致で可決承認された。なお、会費収納率の向上対策やコロナに対する陳情活動について積極的に対応して欲しいとの意見があった。

最後に、来賓の青木正東北税理士政治連盟会長に祝辞をいただき定期大会は終了した。



令和2年度定期大会を開催

青森県税理士政治連盟

7月20日、定期大会が青森県税理士会館において開催された。

今回の定期大会は、新型コロナウイルス感染症の危険性を回避するため、来賓者の出席を見合せるとともに少人数での開催となった。

長谷川有美副幹事長の司会により米田孝副会長の開会の辞、物故会員に対する黙祷、新入会員紹介と進行し、西村晴夫会長から、新型コロナウイルス感染症の中での出席と、サポート募金への協力に対する謝意、全国的な豪雨災害に対する支援のお願い、今後の国政選挙に対する対処方針等のあいさつがあった。



議事に入り、提案した議案について審議し原案どおり満場一致で可決承認された。

最後に、佐々木泰司副会長が閉会を宣し定期大会は無事終了した。

第44回定期大会を開催

岩手県税理士政治連盟

8月27日、岩手県税理士会館（盛岡市）において、第44回定期大会が開催された。

今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点より規模を大幅に縮小しての開催となった。

高橋勉副会長の開会の辞に続き、穀田有一会長が、税政連活動に会員の皆様から引き続き協力を頂きたい旨及び昨年度初めて実施されたサポート募金の状況の報告などをあいさつした後、議長に菊池康弘副幹事長が指名され議事に入った。第1号議案から第5号議案まで審議され、全議案が原案通り可決承認された。



議事終了後、佐々木智也幹事長による大会決議文の朗読が行われ、続いて青木正東北税政連会長の祝辞を穀田会長が代読し、和田孝仁副会長による閉会の辞をもって、定期大会は終了した。

定期大会終了後、例年は国会議員らを招き懇親会を実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から本年は実施を見送った。